



学校だより 6月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和4年5月31日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

今年は「一心入魂」

校長 寺園 淳

石川小学校自慢の自然園の緑が濃さを増し、初夏の訪れを感じる季節となりました。子どもたちは運動会に向けて様々な学習に取り組んでいます（この原稿は運動会前に執筆しました）。そして、応援練習を終えた時です。一人の子が私のそばに来て、「校長先生、あそこに石川があるよ。」と話しかけてきました。それは本校の用務員が自然園の雑草を刈り取り、整備を進める中で、ガーデンアートとして、石川の文字を浮かび上がらせてくれたものでした。何人もの子どもがこれに気づき、嬉しそうに会話している姿に「やっぱり石川小学校はいいな」と改めて感じました。私はこのように子どもたちのために、創造を働かせてくれる職員を誇りに思います。



本校にとって春に実施する運動会は、学年・学級の仲間づくり、上級生としての自覚を育む大切な行事です。さらに今年は教育活動方針でもお伝えしたように、主体性を育むことをねらいとしています。運動会でも子どもたちが教師から与えられた活動として取り組むのではなく、自分たちから働きかけて「運動会を創っていく姿」を求めています。その一つが運動会開幕セレモニーの実施です。セレモニーではリレー選手や応援団の募集のお知らせを行いました。例年ならば、どちらも教室で教師が子どもたちに伝え、代表を選出していました。選出そのものには教師の支援が必要ですが、子ども自身が呼びかけたことで運動会の取組がスタートしたことに意義があります。競技や演技の学習（練習）をするときにも、初めにその時間のめあてを確かめ、学習を進めていました。その一つ一つが子どもを学習の主体者に育てていくことにつながると考えます。

全ての教育活動は、学校教育目標「石川魂」の具現化であり、子どもたちが様々な資質や能力を身に付けることにあります。私たち教職員は子どもが学びの主体者になるように努めてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

今年の運動会のスローガンは「一心入魂」です。開幕セレモニーから始まり、本番に向けての学習で皆の心が一つにまとまってきました。その要となったのが赤組、白組それぞれの応援団長です。運動会に向けての意気込みを紹介します。

私は1年生の時から憧れていた応援団長になることができました。今年は全校の皆さんが応援団です。全校が一心入魂の思いを胸に頑張れるように、全力で応援します。小学校生活最後の運動会なので、赤組を勝利に導けるように頑張ります。魂をこめて取り組む姿を全校に見せ、下学年に憧れられる団長になりたいです。

6年1組 島野 光瑚

私は「全校全員応援団」という目標をもち、全校だけではなく運動会に来た人も全力で盛り上げていきたいと思っています。はじめは前に立つことがとても緊張していましたが、白組応援団のみんながサポートしてくれたおかげでここまで頑張ってきました。残り一週間、もっと練習をして白組をまとめていきたいと思っています。

6年2組 下田 彩乃